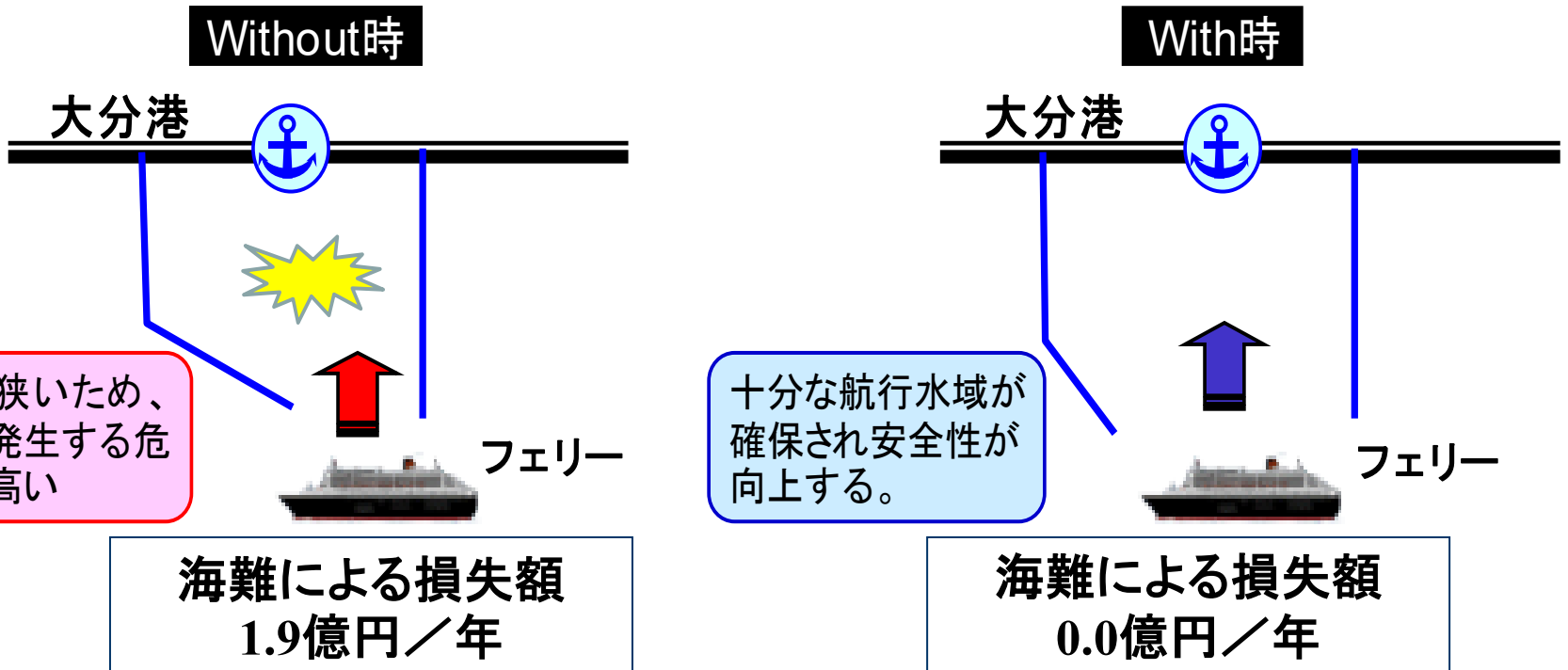


大分港（西大分地区）複合一貫輸送ターミナルの改良

事業の投資効果①〔海難事故の減少効果〕

十分な航行水域が確保され、海難事故が発生する危険性が減少することで、海難における金銭的損失が回避できる。



海難事故の減少便益 1.9億円／年

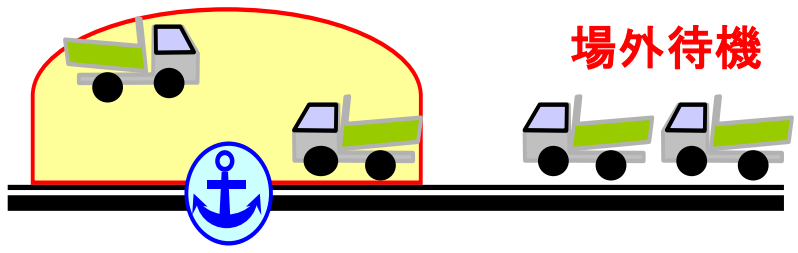
大分港（西大分地区）複合一貫輸送ターミナルの改良

事業の投資効果② [荷役の効率化による輸送／移動コストの削減効果]

十分なふ頭用地が確保されることで、旅客車輛と貨物車輛の輻輳が解消され、効率的な荷役が可能になるとともに場外待機も解消され、輸送／移動コストが削減される。

Without時

大分港

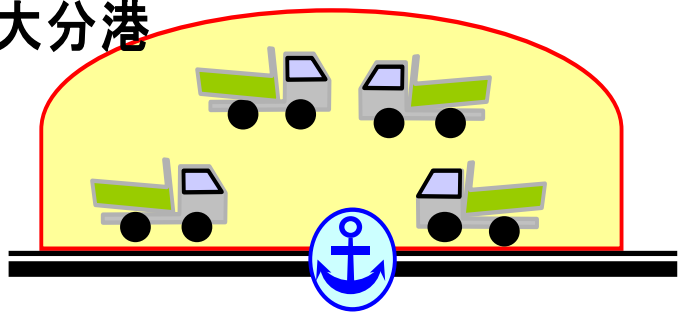


ふ頭用地が狭いため、旅客と貨物車輛が輻輳し、非効率な荷役となっている。

陸上・海上輸送(移動)コスト
81.6億円／年

With時

大分港



十分なふ頭用地が確保され、旅客と貨物車輛の輻輳が解消される。

陸上・海上輸送(移動)コスト
79.3億円／年

輸送・移動コスト削減便益 2.2億円／年

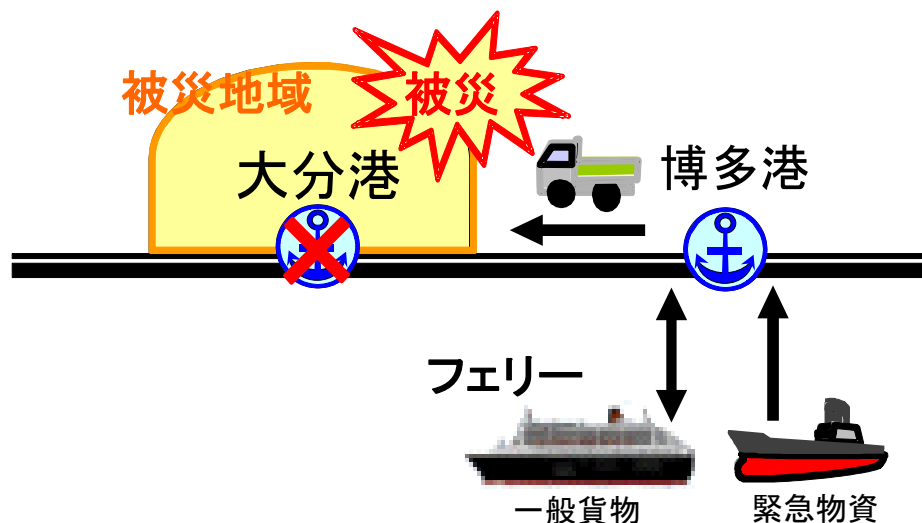
大分港（西大分地区）複合一貫輸送ターミナルの改良

事業の投資効果③

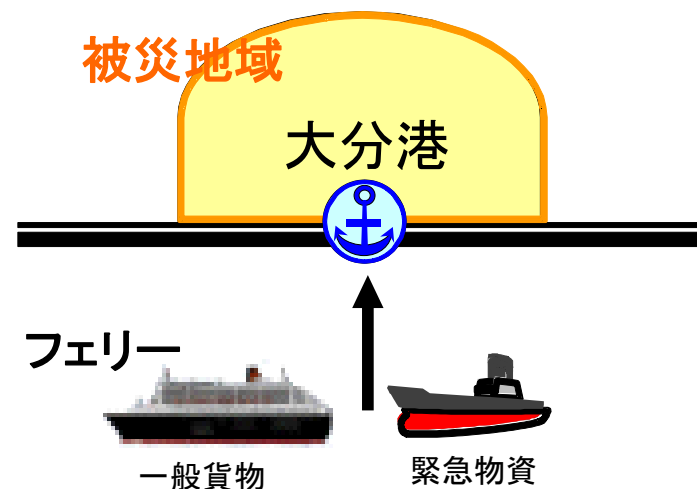
〔震災時における緊急物資輸送等コストの増大回避効果、輸送・移動コストの増大回避効果、施設被害の回避効果〕

岸壁の耐震強化により、大規模地震発生時における緊急物資及びフェリー貨物の輸送コスト並びにフェリー旅客の移動コスト増大が回避される。また、震災時に岸壁の損壊を免れることができ、復旧のための追加的な支出を回避することができる。

Without時



With時



緊急物資輸送コスト増大回避便益	0.04億円/年
震災後輸送・移動コスト増大回避便益	4.1億円/年
施設被害の回避便益	0.3億円/年